

## 海のふるさと館に松浦党説明案内板贈呈 —十八銀行社会開発振興基金—

松浦党説明案内板の目録贈呈式と除幕式が3月30日、海のふるさと館で行われました。

長崎県内の教育、科学、文化などの振興を図るために必要な助成を行っている十八銀行社会開発振興基金から、新松浦市誕生を記念して寄贈されたものです。

贈呈式では、十八銀行の里<sup>なかみつ</sup>隆光常務が「歴史や文化を後世に伝えることは、地域の重要な役目であると考えます。そのための手伝いをできたことはとても嬉しく思います」とあいさつ。「海のふるさと館を訪れる多くの人に、松浦市を知ってもらえるよう案内板を活用したいです」と友広都洋市長が答えました。

案内板は、海のふるさと館駐車場に設置され、松浦の歴史や松浦党の説明などが記されています。



## 鷹島歴史民俗資料館を無料開放します

新松浦市誕生と鷹島海底遺跡から出土した遺物の平成17年度分保存処理完成を記念して、5月1日から5日までの5日間、鷹島歴史民俗資料館を市民に無料開放します。皆様のご来場をお待ちしています。

なお、入館の際に、松浦市民であることを確認できる公的証明書を提示してください。

〈公的証明書の例〉

運転免許証、健康保険証、そのほか住所・氏名・生年月日等が記載された公的機関発行の証明書

※小・中学生、高校生は、名札・生徒手帳・制服などで確認します。

○問合せ先 鷹島歴史民俗資料館 ☎0955-48-2744



## 興星館が総合優勝

### —第14回松浦ロータリー杯争奪少年剣道大会—

第14回松浦ロータリー杯争奪少年剣道大会が4月9日、松浦スポーツセンターで開催されました。

市内の9道場から小中学生約120人が参加し、熱戦が繰り広げられました。

結果は次のとおりです（敬称略）。

〔以下クラブ名〕 福島少年剣道 鷹島 鷹島少年剣道 今福少年剣道 今福 調川少年剣道 調川 松浦少年剣道 松浦 志佐中学校 志佐 松武会 松武 田代少年剣道 田代 興星館 興星

#### 〔個人戦〕

〈小学2年以下の部〉  
①田中颯介（田代） ②川浪さくら（松浦） ③福田琴乃（田代） ④田中英聖（田代）

#### 〈小学3年の部〉

①松坂拓海（興星） ②前田智紀（興星） ③坂本奈穂（鷹島） ④若松菜緒（興星）

#### 〈小学4年の部〉

①池田安香音（興星） ②池野幸佑（興星） ③山口明津也（調川） ④木寺彩乃（鷹島）

#### 〈小学5年の部〉

①福田凌太郎（田代） ②梶村研治（鷹島） ③山口薫子（田代） ④井元琴音（田代）

#### 〈小学6年の部〉

①林 健二郎（興星） ②倉橋賢多（興星）



星 ③寺山朋徳（田代） ④若松達矢（興星）

#### 〈中学女子の部〉

①福田 葵（田代） ②森 恵美（田代） ③宮木理緒（興星） ④吉福かおり（興星）

#### 〈中学男子の部〉

①松坂貴洋（興星） ②吉原優作（志佐） ③増山 稜（興星） ④寺澤慶太（今福）

#### 〔形の部〕

〈小学生〉  
①久保川諒祐・山口明津也（調川）  
②下田鴻亮・倉橋賢多（興星） ③谷本愛衣・田中 唯（調川） ④大野花華・若松達矢（興星）

#### 〈中学生〉

①井上良太・吉原優作（志佐） ②佐野公亮・北川夏美（志佐） ③寺澤慶太・川原忠貢（今福） ④関 萌子・宮木理緒（興星）

#### 〔総合成績〕

①興星館 ②田代少年剣道クラブ

とき

vol.4

# 旬しゅんの人

## 特に優良な 少年消防クラブに 「青島少年消防クラブ」

— 少年少女消防クラブフレンドシップ2006 —



松浦地区消防署へ受賞報告に訪れた、前田さん（写真左）と森さん（写真右）。

青島少年消防クラブ（23人）が、全国少年消防クラブ運営指導協議会主催の「少年少女消防クラブフレンドシップ2006」（3月27日、東京都）で、特に優良な少年消防クラブとして表彰を受けました。

この表彰は、過去に「優良なクラブ」としての受章歴があり、引き続き活発な活動を行っているクラブに贈られるもので、今回は全国で15団体が表彰を受けました。

同クラブは、昭和56年4月1日に結成以来、クラブ員それぞれが率先して年間行事計画を実施するなど、自覚と誇りをもつての活動を続けていて、他クラブの模範となっています。また、防火活動には、指導者や学校、地域住民が一体となり活動を支援するなど、熱心に取り組んでいます。

表彰式にはクラブを代表して団長の前田吉美よしみさん（15）と次期団長の森麻美あさみさん（14）の2人が出席。前田さんは「年末火災予防運動期間中の『火の用心』の呼びかけや地区の清掃活動などが印象に残っています。活動が認められてうれしかったです」と話し、森さんは「来年度も頑張って活動を続けていきたいです」と話してくれました。



## 大草原のコンサートと定置網体験 —モンゴル村春まつり—

モンゴル村春まつり(鷹島町観光協会など主催)が3月25、26日の2日間、モンゴル村を主会場に開催されました。

野外コンサートや漁業を体験してもらおうと、初めて開催されたものです。

25日は、元寇太鼓の演奏や、鷹島町ソーラン隊が「鷹島ソーラン踊り鷹」を披露。また、唐津市の音楽バンドが野外コンサートを開き、観客を魅了しました。26日は早朝から、阿翁浦港で定置網体験や、取れたての魚を地元漁師と一緒に調理する体験も行われました。

# まちの話題



## 楽しく交通安全への 関心を高める —パンダクラブ親子大会—

第30回パンダクラブ親子大会が3月28日、文化会館で行われました。

幼児の交通ルールの関心を高めるために、毎年開催されています。

各代表者に修了証・記念品を授与した後、川口竜典ちゃん(今福・北東1、4)と山本桜子ちゃん(志佐・庄野、4)が「交通ルールを守り、これからも事故にあわないことを誓います」と選手宣誓を行いました。

この日は、パンダクラブの幼児やその保護者など約40人が参加し、体操や親子ゲーム、かけっこなどのゲームを通して、交通安全への関心を高め、1年間の教室を締めくくりました。



## おてや 落合の洞窟で彼岸行事

志佐町赤木地区にある落合の洞窟で3月21日、無病息災を願う彼岸行事が行われました。

弘法大師がまつられたこの洞窟は高さ約2<sup>メートル</sup>、幅30<sup>メートル</sup>、奥行き15<sup>メートル</sup>ほど。この日は地元の人たちが約40以上ある地蔵にろうそくをともし、赤飯やお神酒を供え、無病息災を祈願しました。

参拝した人の中には、洞窟の中で昨年の福岡県西方沖地震を体験した人もおり「一年たっても、あの時の恐怖が鮮明に思い出されます」と、洞窟に入らず外から参拝する姿も見られました。



## 志佐川に稚アユを放流

稚アユの放流が4月14日、志佐川で行われました。志佐川漁協組合員と市職員らが、大分県湯布院町から運ばれた体長約10センチの稚アユ約5万尾を、志佐川の4か所で放流しました。

同組合の山口利光組合長は「今年の稚魚は元気がよく、今までで一番成育が良いです。解禁後は多くの釣りファンに楽しんでもらいたいです」と話していました。

アユ漁解禁日の6月1日には、20センチほどに成長し釣り人を楽しませます。



## 石田さんが草花や風景の写真展

写真愛好家の石田博之さん（御厨・池田）の写真展が3月25日から27日の3日間、池田地区住民センター「ふれあい館」（上田雍子館長）で開かれました。

石田さんは、市内外で写真教室の指導をしたり、各地に足を運び風景写真などを撮り続けたりしていて、今回は同館の活動の一環として石田さんが依頼を受け、開催されたものです。

展示されたのは、石田さんがこの一年間に撮影した草花や風景の写真など40点。地区住民や市内外から写真愛好家などが訪れ、作品に見入っていました。

## 春の陽気と満開の桜のもとで

### —第15回福島桜春祭り—

福島桜春祭り（福島YOKA隊主催）が4月8、9日の2日間、大山公園で開催されました。

福島ひろゆきの春の魅力さくらんぶたいをアピールしようと毎年開催され、今回で15回目。「満開の桜のもとぶゆうじんを楽しんでください」と吉永浩幸隊長さくらんぶたいがあいさつ。桜に囲まれた屋外ステージで、ふくしま咲欄舞隊と佐世保舞遊人のヨサコイ踊りや玄蕃太鼓の演奏、地元文化団体が舞踊や詩吟・民謡を披露しました。

また、会場には松浦市内をはじめ伊万里市や唐津市など近隣の市からも多くの観客が訪れ、飛び入り参加のカラオケなどで楽しい時間を過ごしました。



## 市内各地で春の戦没者慰霊祭

4月4日から28日にかけて、市内各地で春の戦没者慰霊祭が行われました。

今年は、志佐・青島・御厨・今福・星鹿・調川・上志佐・鷹島の8地区で行われました。

10日に今福公民館で行われた今福地区戦没者慰霊祭（写真）には、遺族など約100人が参列。友広郁洋市長が「再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和の確立と郷土発展に全力を尽くします」と慰霊のことばを述べました。また参列者は黙とうなどを行い、戦没者の霊を慰めました。

## ソフトボールで親ほく

今福町の「春の町民ソフトボール大会」(松浦商工会議所今福支部青年部主催)が4月16日、今福小学校と松浦東高校のグラウンドで行われました。

今年は、市内から15チーム約150人が参加。選手たちは、心地よい汗を流し、親ほくを深めました。

上位の結果は次のとおりです(敬称略)。

優勝=つじやま 準優勝=宮日会 3位=松浦水産、鷹島商工青年部 ホームラン賞=山崎 純(6本、つじやま) ファインプレー賞=金井信夫(宮日会) MVP=山口裕史(つじやま)



## モンゴルから鷹島町を取材

モンゴル・ナショナル・テレビ局のスタッフが3月25、26日の2日間、鷹島町を取材に訪れました。

外務省がモンゴル国民の対日理解を進めるために招待したもので、日本とモンゴル両国の歴史的背景の一端をレポートした日本特集ドキュメンタリー番組が制作されます。

テレビ局スタッフは、歴史民俗資料館や宮地嶽史跡公園などの元寇ゆかりの場所を取材したり、開催中の「モンゴル村春まつり」や地域住民の生活の様子を取材したりしました。



## 「はーとオアシス」に洗濯機を寄贈

精神障害者地域活動所「はーとオアシス」にこのほど、社会福祉法人長崎県共同募金会から洗濯機が贈られました。

今回の寄贈は、平成17年度歳末たすけあい運動に寄せられた募金によるものです。

「はーとオアシス」は、通所者(21人)の社会復帰に向けた各種作業に取り組んでいます。ここ数年、県立松浦東高校の協力を得ながら花苗の育成も行っていて、夏場の土作りや除草などで汗をかく機会が多くなり、洗濯機の設置を待ち望んでいました。

## 漁業者と意見交換会 —フィッシャリーミーティング—

国会議員らが漁民と直接対話し、地元の声を国政に生かそうと全国で開催している「フィッシャリーミーティング」が4月1、2日の2日間、新松浦漁業協同組合本所と松浦魚市場で開催されました。

意見交換会では、市場関係者や漁業者から「貿易手続きを簡素化し、助成金の補助率を上げてほしい」「魚価対策にスピードを持って対応してほしい」などと要望。国会議員は「漁業の厳しい現状を強く感じました。現場の生の声として国政に反映させたいです。対中輸出も注目している事例なので大変勉強になりました」と話していました。

また、魚市場での意見交換会の前に、市場内や養殖施設なども視察しました。

